

式 辞

今年には昨年無比雪の多い寒い冬でしたが、学校周辺の草木にも春の息吹が感じられる季節となりました。

このよき日に、PTA会長高橋信治（たかはし しんじ）様をはじめ、多くのご来賓の方々並びに保護者の皆様にご臨席いただき、平成二十八年度島根県立大社高等学校 第六十九回卒業証書授与式をこのように盛大に挙行できますことは、私たち教職員、在校生にとりましてこの上ない喜びであります。高いところからではございませんが、心からお礼申しあげます。

また、保護者の皆様には、お子さまのご卒業を祝し、教職員を代表して心からお慶び申し上げます。

さて、二百七十五名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

本校は、明治時代に本県三番目の中等学校として開校して以来、今日に至る長き歴史を刻み、本年は創立百十八年となりました。本校の一世紀を超える伝統と文化を継ぐ卒業生として誇りを持って巣立ってほしいと思います。

卒業生の皆さん、この大社高校で過ごした三年間を振り返ってみてください。何が一番最初に浮かんできますか？

勉強や部活動など日々の高校生活のこと、鹿城祭や球技大会などの学校行事のこと、進路決定に悩んだこと、受験のこと、大会やコンクール等に出場した時のことなど様々なことが浮かんでくることと思います。また、その時の楽しかったことやうれしかったこと、辛かったこと、悔しかったことなどの思い出が浮かんだと思います。

皆さんは、高校生活にあって、お父さんやお母さんそして地域の方々からの支援も得ながら、それぞれの目標をに向かって、たゆまぬ努力を重ねてきました。その姿は、後輩たちへの確かな模範となると同時に、大社高校の新たな歴史をしっかりと刻んでくれたものと確信しています。

そして、その思い出の中に、同級生や先輩・後輩との出会い、あるいは家族や先生、地域の方々など多くの人々との関わりがあったと思います。この様々な人との関わりを通じて「支え」られたり、「支え」たりすることで「絆」はさらに一層深まったと思います。これからもその「絆」を大切にしてほしいと願っています。

「志有る者は、事、竟ついにに成る。」という言葉があります。これは、紀元後一世紀中国の後漢を開く劉秀の言葉です。將軍の耿こうえん・が、強敵を平定するための作戦を提案しました。その計画は遠大で、とても実現できそうではありません。だれもまともにしませんでした。しかし、耿・は自分の作戦を着実に進めていき、ついには強敵を撃破してしまいました。その戦勝の宴で劉秀が発したのが、このことば。しっかりとした志を持っている人間は、他人から見ると不可能に思われることでも、成し遂げることができる。意志の強い人間は、最後にはものごとを成し遂げるものだという意味です。

当然、志や夢を抱くだけでは十分ではありません。古代中国紀元前一世紀、性悪説を主張した儒家の荀子の「きほ歩を積まざれば、以て千里に至るなし」という言葉のとおり「何事を成就するにも、一歩ずつ進めること、つまり小さなことの積み重ねなくしては不可能である。」と考えます。また、イギリスの哲学者は「人間のあらゆる行為に努力と結果があり、努力の大きさにふさわしい結果が生じる」とも述べています。時代も中国とイギリス

スと大きく異なるヒトがほぼ同じ意味を述べていると言うことはそれが真実をついた言葉であると考えられます。毎日、何かをすれば、必ず何らかの結果が得られる。目標の達成に向けて積み重ねた努力の一つひとつが、目標達成に近づく結果を生むのです。目標を達成しようと思ひ、目標を達成する方法を知っているにもかかわらず、目標を達成できない。それはなぜか？ 不断の努力を怠るからです。目標達成は、努力した量に比例します。努力の積み重ねを高校卒業後くれぐれも忘れないようにして欲しいと願っています。

しかしながら、そうやって努力を積み重ねても人生は常に順風満帆とは行かず、逆境はやってきます。

その時には、第二次世界大戦でイギリスの首相としてナチスドイツのイギリス侵攻を防ぎ、第二次大戦後にはノーベル文学賞を受賞したウィンストンチャーチルの次の言葉

を思い出して欲しいと思います。「風が一番高く上がるのは、風に向かっている時である。風に流されている時ではない。」逆境こそチャンスだということです。逆境にさらされれば人間は強くなるはずです。逆境は永遠には続かない。逆境に屈してしまおうと、逆境はいつまでも続くことになると言います。逆境にあつた時にはもう終わりではなく、ちよつと立ち止まって、どうすれば良いかを考え逆境に立ち向かい、また、目標に向かって前向きに歩み、心豊かな人生を歩んで欲しいと思います。どうか、どのような人生の壁にも前向きに歩んでほしいと思います。

そして、そのようなときには次のギリシャ神話の話を思い出してください。オリンポス山にすむ神々が、幸福の秘訣をどこに隠せば、人間が見つけたとき最も感謝するかを話し合いました。

「高い山の上」「地中深く」「深い海の底」と隠すべき場所をめぐって様々な意見が出された、その後で、ある神が「人間の心の奥底に隠すのがいい」と提案しました。古くから、人間は幸福な人生を送る秘訣を探し求めてきました。しかし、現在に至るまで、多くの人は、幸福の秘訣が隠された場所を見つけることができていませ

ん。それが自分の心の奥深くに隠されていることに気づいていないからです。幸福は、金持ちかどうかではなく、心の中が豊かな気持ちでいっぱいになっているかどうかで決まります。幸福の原点は、自分にとって興味のあることで、心から楽しめ、しかもうまくできる対象を見つけることです。自分に喜びと心の安寧をもたらしてくれることを見つけることは、人生の幸福を手に入れるための出発点です。そして、自分自身を見つめ発見することを通じて、幸福の秘訣を見つけ出すことができます。それは、自分自身の心の奥底に隠されているのです。

最後になりましたが、保護者の皆さま、家族の皆さま、本日は誠にありがとうございます。お子様が十二年間の学校教育を終えたことのお喜びもいかにばかりかと存じ、あらためてお祝い申し上げます。また、この三カ年の本校の教育に格別なるご理解とご協力を賜りましたことに対しまして、高いところからではございますが、教職員を代表して心からお礼申し上げます。

最後になりますが、卒業生の皆さんの前途に幸せ多からんことを祈念しまして式辞といたします。

平成二十九年三月三日

島根県立大社高等学校

校長 小山理久